

【プレスリリースの内容】

- ・ 港湾空港技術研究所は、平成 20 年以降、三重県鳥羽市と愛知県田原市伊良湖町の間（図-1 参照）を航行する伊勢湾フェリーに機器を設置し、伊勢湾口の流動および水質観測を行っています。
- ・ 平成 20 年 3 月から現在までの観測結果の一部を、インターネットを通じて公開^{*1}することと致しましたのでプレスリリースします。
- ・ 公開する観測結果の例は、図-2 のとおりです。

*1 URL : https://www.pari.go.jp/unit/kaikj/ise_bay_ferry/

【背景】

- ・ 平成 19 年 3 月に、「人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした「伊勢湾再生行動計画」及びそれに基づく「伊勢湾再生海域推進プログラム」が策定されました。
- ・ 伊勢湾の豊かな環境の再生にむけた主要な取り組みの一つとして「貧酸素水塊の抑制と生物資源量の回復」が挙げられます。
- ・ 伊勢湾が健全な状態であったといわれている昭和 30 年代初頭の貧酸素水塊の状態や生物生産量にできるだけ回復させることを目標とした、モニタリング体制の整備等による環境変化のメカニズム解明が必要とされています。
- ・ 以上の理由から、伊勢湾内では様々な機関によって水質や流動の観測が行われ、集約された観測結果はインターネット等を通じて一般に公開されています^{*2}。
- ・ 港湾空港技術研究所では平成 20 年以降、三重県鳥羽市と愛知県田原市伊良湖町の間を航行する伊勢湾フェリー^{*3}に機器を設置し、伊勢湾口の流動および水質観測を行い、データを蓄積し、一般に公開する準備を行ってまいりました。

*2 伊勢湾環境データベース : <http://www.isewan-db.go.jp/>

【観測結果公開の意義】

- ・ 伊勢湾の水質と流動は、外洋（太平洋）からの海水の流入等の影響も強く受けているものと考えられます。
- ・ この観測結果の公開により、伊勢湾の流動および水質についての理解や赤潮・青潮の発生等の水質悪化の原因究明に貢献することが期待されます。

*3 伊勢湾フェリー株式会社 : <https://www.isewanferry.co.jp/>

【謝辞】

本観測は、伊勢湾フェリーに港湾空港技術研究所の施設を設置させていただくことによって実現しています。伊勢湾フェリー株式会社の皆さまには多大なるご協力をいただいております。本観測は国土交通省中部地方整備局の協力のもとに行っております。

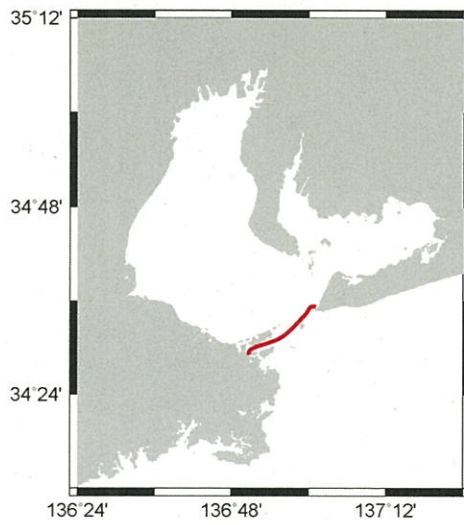


図-1 伊勢湾口におけるフェリー観測の場所（赤線がフェリー航路）.

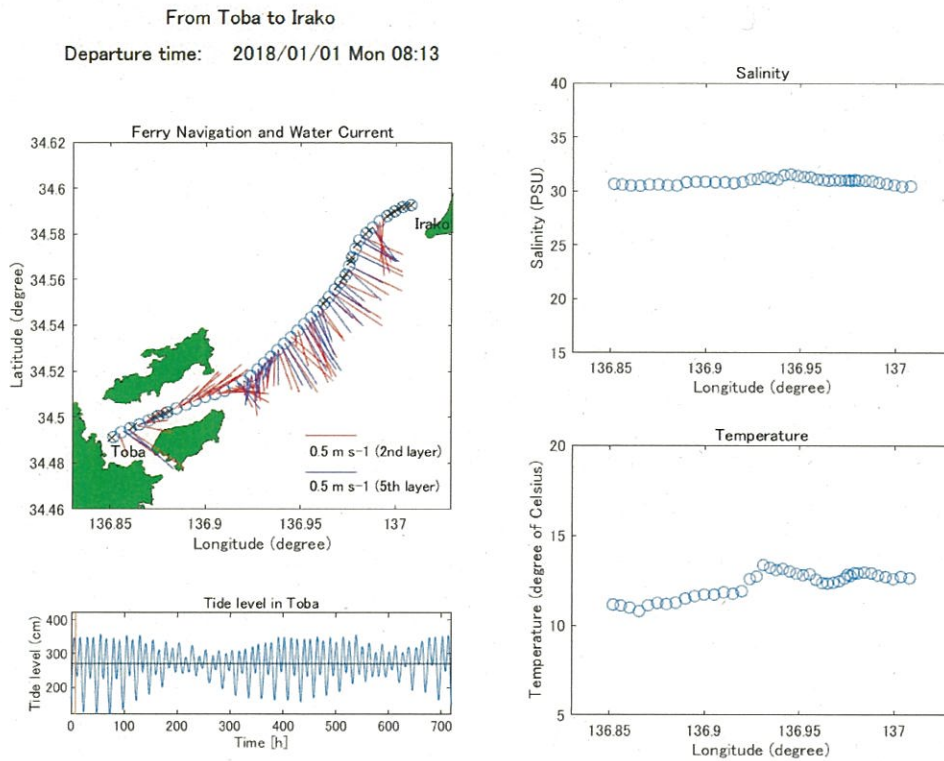


図-2 観測結果の一例（平成 30 年 1 月 1 日）. 左上が流速の分布図を示しており、赤が水深約 16m, 青が水深約 28m の流向流速を表す. 図より、横断方向に流れが変化していることがわかる. 左下が鳥羽の潮位の時系列を表す. 右上が塩分、左下が水温を示している. 横断方向に水温の分布があることをとらえている.